

今日は、当館でおこなわれている教育普及活動の一つ〔先生方との鑑賞学習ワーキンググループ〕についてご紹介します。

先週の18日（土）に、〔先生方との鑑賞学習ワーキンググループ〕がありました。ワーキンググループとは、登録制の研究会で、鑑賞学習に関心のある先生方が月に1回のペースで集まり、鑑賞教育の事例研究や、美術館で実施する事業への協力、学校と美術館をめぐる鑑賞教育の課題についての討議などを担当の学芸員と共におこなっているものです。

今回のワーキンググループでは、次回開催の「アンドリュー・ワイエス -創造への道程-」に合わせて、実施予定の関連ワークショップとセルフガイド、鑑賞補助教材についての話し合いがおこなわれました。



▲美術館の会議室にて

ワークショップについての意見交換では、どのようなアプローチが小・中学生に有効なのか、美術館ですべき活動はどのようなことなのかなど、先生の側からみた意見も多く出て、活発な意見交換ができました。今後も話し合いを重ね素敵なワークショップ、セルフガイド、鑑賞補助教材にしていきます。



▲ワーキンググループ終了後も、多くの先生方が残り意見交換をしていました。

ワークショップの内容や日程は未定ですが、近日中にお知らせしたいと思いますので、ぜひ参加していただきたいと思います。先生方との協力によってどのような内容のワークショップやセルフガイドになるのか、楽しみにしててください。

(RK)